



● 地域の多文化共生における国際交流員 (CIR) の活躍 —— 静岡県地域外交局多文化共生課

CIR の多文化共生における役割

静岡県で生活する外国人県民の数は、2018 年末時点で 8 万 9,341 人となり、県総人口のおよそ 2.4% を占めています。

外国人県民のうち、国籍別で最も人数が多いのはブラジル人であることから、本県では、これまで長期間にわたってブラジル人 CIR を任用してきました。

しかし、国籍別でも 2 番目に多く、近年着実に数を伸ばしているフィリピン人についても、情報収集や支援を行う必要があることから、フィリピン人 CIR の招聘を決め、2015 年からパメラさんを任用しています。

現在、本県では外国人県民の支援とともに、国際交流の分野でも CIR を活用しているため、パメラさんのほか 4 人の CIR (韓国、インドネシア、シンガポール、ブラジル出身) が在籍しています。

パメラさんは、SNS を活用したフィリピン人向け生活情報発信、県内のフィリピン人コミュニティとの連絡調整、外国人相談窓口業務の補助、庁内のフィリピン語の翻訳・通訳など、フィリピン人支援に関するさまざまな業務を担当しています。

また、小中学校やイベント等に出向き自国の文化や生活習慣を紹介しています。料理や工作、伝統的な遊びといった体験も交えて行う出前教室は、受講者に大変好評であり、フィリピン人の持つ文化や考え方への理解促進に貢献しています。このほか庁内においては、地域防災活動推進委員会に参画し、外国人県民の目線により、意見を述べたり、機関紙の発行に携わるなど、活動する場は広範囲にわたっています。

広がる活躍のフィールド

2018 年、静岡県では災害時に外国人県民を支援するため、新たに「災害時多言語支援センター」を整備しました。この体制の中でもパメラさんは、外国人被災者にとって重要な災害関連情報のフィリピン語への翻訳や発

信等を担当しており、活躍が期待されています。

今年 4 月には、改正入管難民法が施行され、今後日本で暮らす外国人がより一層増加することが見込まれています。CIR についても、啓発や情報発信のみならず、今後地域に住む外国人の生活支援分野へと活躍の幅が広がっていくことが予想されます。

全国においてフィリピン人 CIR は本県 1 人のみであるため、パメラさんが静岡県と県内に暮らすフィリピン人との架け橋になるとともに、フィリピン人 CIR のモデルとなることを期待しています。



小学校での出前教室でフィリピンの文化を紹介するパメラさん



災害時多言語支援センター設置訓練で翻訳等の訓練を行う国際交流員 (写真右端がパメラさん)



県内のイベントでフィリピンの伝統遊びを紹介するパメラさん